

ナビゲーター

を通じて関係強化を目指す報告書を作成した。日本企業に資するBPO（業務プロセスアウトソーシング）サービスの内容とマーケティングの検討を含むものであった。

私の眼から日本を端的に表現すると、精密さと進歩の国

昨年、JICA（国際協力機構）からリーム中産連が受託した研修終了者から帰国後の日本観ならびに報告を連続して紹介する。まずパキスタンの研修員からの寄稿である。この修了者は帰国時に、日本とパキスタンのIT活用

日本への期待
世界各地から

其
122

言葉の壁を越え海外展開するには

とである。

である。私が昨年10月から11月に日本に滞在したのは、JICAの知識共創プログラムへの参加であり、伝統と変革をきわめて巧みなバランスで実現しているのを目の当たりにする貴重な機会を得た。日本は、技術の先進性と働き手の倫理性、品質へのあくなき追求で世界から羨望のまなざしを集めている。

名古屋の繁華街を歩き、製造業が集積する愛知県のビジネス社会に触れ、ひとつの鍵となる認識を新たにした。それは日本が現在、経済発展の重要な岐路に立っているこ

パキスタンから(上)

と。日本は依然、製造業、自動車産業、電子機器をけん引する立場だが、グローバル経済はデジタルサービス、人工知能（AI）による自動化、国境を越えた協業に急速にシフトしつつある。この変化は日本にとって課題であると同時に刺激的なチャンスでもある。

変化しつつある日本の労働環境とデジタルトランスフォーメーション（DX）の興隆について見てみよう。日本経済の特徴のひとつは、高齢化と労働人口の減少である。これは労働力の供給という点

では課題だが、半面DXおよび事業プロセス最適化の必要性を加速している。多くの日本企業が事業の一部を切り出してアウトソースするモデルと優秀な業務遂行を保障するAIの活用方法を模索している。

変化したとある日本の労働環境とデジタルトランスフォーメーション（DX）の興隆について見てみよう。日本経済の特徴のひとつは、高齢化と労働人口の減少である。これは労働力の供給という点

すると、西欧で見られるコスト削減と効率を重視したモデルとはちがひ、日本企業は内製で実施するのと同等の品質と精密さを実現するため、段階を踏んで統合していくやり方を好む。

変化しつづける日本の労働環境とデジタルトランスフォーメーション（DX）の興隆について見てみよう。日本経済の特徴のひとつは、高齢化と労働人口の減少である。これは労働力の供給という点

さらにグローバル市場へのデジタル展開。従来の経験では日本の海外進出は、工場などの製造拠点、営業拠点などのオフィスの設置を伴う物理的なものだった。しかしデジタルの時代においては、成長はeコマース、クラウドサービス、AIを活用した事業ソリューションにより加速する。日本語と海外市場での言語に対応したAIを組み込むアウトソーシングモデルを活用することで、日本は継ぎ目なく海外にサービスを展開できる。

【サイアッド・アシム・ジラニ、リーム中産連】
(月曜日に掲載)